

窓 久工大だより

主要記事

1面	表紙	4面	学生活動状況
2面	学長・後援会会長挨拶	5面	学生課外活動
3面	新任教員あいさつ	6面	入試日程・公開講座

第53号

発行・編集

久工大だより編集委員会

久留米市上津町2228-66

TEL(0942)22-2345(代表)

FAX(0942)21-8770

<http://www.kurume-it.ac.jp>

● オープンキャンパス 2008

発見

創造

感動



8月2日(土)

9:30~15:00

8月3日(日)

9:30~15:00

9月20日(土)

9:30~15:00

◆ 学科別相談コーナー

◆ 入試相談コーナー

◆ 体験学習

◆ 学食ランチ体験

◆ 学生フォーミュラ試走 (8/3・9/20)

◆ 電気自動車試乗会 (9/20)



学長挨拶

皆さん、今年度早くも梅雨の時期を迎えました。皆様方にはご健勝にお過ごしのことと思います。一方、地球の気象は何か不気味な感じがいたします。先日（平成20年6月14日）岩手・宮城内陸地震が発生しました。その被害の大きさに専門家も一様に驚きの声を上げ、今日（6月17日）も被災者の救助に多くのかたがたが必死の作業に取り組んでおられます。世界に目を向けますと、これより約一ヶ月前の5月2日から3日にかけて、ミャンマーでは巨大なサイクロンが発生し、壊滅的な被害が出ています。さらに、これよりほんの10日ほど経った13日には、中国の四川省で今まで経験したことのないような大地震が発生しました。また、このほか国内でも最近福岡県西方沖地震、阪神・淡路大地震が発生しています。このような自然災害の発生と時を同じくして、地球温暖化と人間が輩出した温暖化ガスの抑制が世界的な問題に



学長
深野 徹

なっています。このように見ますと自然の災害が、経済発展すなわち地下資源（あるいはエネルギー）の過剰な消費に起因している、すなわち人間の営みによつて引き起こされたと考えられなくもないように思います。

本学の学生および卒業生は、本学の建学の精神「人間味豊かな産業人の育成」を真剣に考え、今必要とされる「倫理感」をしつかり体得して、バランスの良い人間性を持つことが、いまこそ求められます。

日本伝熱学会名誉会員

本学の深野徹本学学長が日本伝熱学会の名誉会員に推挙された。5月22日の日本伝熱学会総会において発表され、盾が授与された。盾には「永年にわたり、伝熱学の進展と本学会の発展のために貢献されました。その貢献を讃えます。」と記述されている。



後援会会長挨拶

今年度、久留米工業大学の後援会会長に就任しました榊林です。



後援会会長
榊林 康弘

日ごろより、保護者の皆様には後援会活動にご協力をいただき大変感謝致しております。

後援会といたしましては、今後も保護者の皆様と連絡を密に取りあい、学生にとつてより良い教育環境が整備され、充実した学生生活が送れ立派な社会人となるよう支援していきたいと考えております。

なにとぞ、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

後援会新役員紹介

会 長	榊林 康弘 (建築・設備工学科)
副会長	仲 正二郎 (情報ネットワーク工学科)
副会長	中原 賢勝 (建築・設備工学科)
理 事	一条 光男 (機械システム工学科)

▶▶▶▶▶

平成20年度 保護者懇談会会場

◀◀◀◀◀

9月6日(土)

福岡・・・エルガーラホール
佐賀・・・佐賀ワシントンホテルプラザ
大分・・・大分ワシントンホテルプラザ
長崎・・・ミナトパーク長崎
宮崎・・・ひまわり荘
沖縄・・・ホテルロイヤルオリオン

9月13日(土)

久留米・・・本学本館ホール
熊本・・・アークホテル熊本
鹿児島・・・城山観光ホテル
山口・・・宇部全日空ホテル
広島・・・リーガロイヤルホテル広島
松山・・・松山シティホテル

新任教員あいさつ



創造工房
野口 聡仁

私は、本年4月より創造工房で技術職員として勤務しております。平成10年に専門学校を卒業

設計領域で業務。この間、多くのエンジン開発に携わり開発することの楽しさや素晴らしい体験することができました。高い目標に向って自分自身が主役意識を持つて熱く燃えて立ち向かうことが開発の原動力であり、製品完成時の喜びはまさに感動です。開発設計の仕事を通して得た経験と知見を是非とも本学の学生の皆さんにお伝えたいと思います。研究室ではエンジンの課題研究をテーマにとりあげてそれらの具体的な改善提案を行うという新しい取り組みを行います。



交通機械工学科
原 節男

学歴：鹿児島大学工学部
専門分野：機械要素設計
工学・交通機械設計製図

コメント：マツダ(株)に入社。以来、エンジンの開発設計領域で業務。この間、多くのエンジン開発に携わり開発することの楽しさや素晴らしい体験することができました。高い目標に向って自分自身が主役意識を持つて熱く燃えて立ち向かうことが開発の原動力であり、製品完成時の喜びはまさに感動です。開発設計の仕事を通して得た経験と知見を是非とも本学の学生の皆さんにお伝えたいと思います。研究室ではエンジンの課題研究をテーマにとりあげてそれらの具体的な改善提案を行うという新しい取り組みを行います。



環境共生工学科
山口 久美

学歴：九州大学大学院文学研究科 英語 英文学専攻
専門分野：米文学
コメント：本年度より、英語(ペーシックイングリッシュ&コミュニケーション)スキルを担当しております。これまで福岡市内及び久留米市内の大学で教えていました。ポストン在住の折に19世紀半ばに自然保護の重要性を説いた哲学者ヘンリー・ソローの著作と出逢い、彼の作品研究を通して環境共生思想に興味を持ちました。歴史、社会、文化など、英語を通して見える多様な世界について、学生のみなさんと一緒に学んでいきたいと思っております。英語学習は地道に続けたいと効果が上がりにくいものですから、毎回の授業をきちんと理解してもらえよう色々な工夫をしていくつもりです。何とぞご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。

後、新日鐵関連(株)高田工業所で勤務し、その後佐賀県の工業高校で勤務しておりました。専門は、機械実習です。本学で勤務し始めて数ヶ月たちますが、ようやく環境にも慣れてきました。今後皆さんのものづくりのサポートや技術向上に貢献できるよう努力していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。(趣味は、ラグビーとサイクリングです。)



交通機械工学科
原 和雄

学歴：九州大学工学部
機械工学科
修士課程終了、工学博士
専門分野：エネルギー変換、熱力学、流体工学、流体機械の関連分野

コメント：久留米工業大学交通機械工学科で工業熱力学と機械製図を担当しています。この学科は機械工学の中でも自動車関係に特化しており、学生諸君

学歴：フイニクス大学院で教育学を学びました(教育学修士。専門は教育学とTEFL(Teaching English as a Foreign Language)でした。その前にイリノイ大学から文学士号を貰いました。専門は演劇でした。教職につく前にシカゴでプロの舞台俳優でした。)



環境共生工学科
マイケル テーリー

こんにちは。英語担当のマイケル テーリーと申します。日本には11年前にアメリカのシカゴから

の教育に対する要求は網羅的、全般的な機械工学と少々異なっています。このことを考慮し、自動車関連のトピックに多く触れることができるように教科書と演習問題はすべて自前で作成しています。機械製図においても私の実務経験に基づいて学生諸君が将来業務で取り扱うと思われる機械装置を選択して、興味を持って学習してもらえようように配慮しています。

コメント：これから社会に育っていく学生に、今までの経験、ノウハウを提供し少しでもその中から学び取っていただければと思っております。



久留米工業大学
別科 嘱託講師
宮本 安雄

学歴：昭和41年3月
福岡市立博多工業高校
自動車工学科卒業
4月福岡日産自動車にサービス技能員として入社し、60の定年まで過しました。

専門分野：自動車整備を20数年間実作業及び販売店で経験したことが私の専門分野となります。コメント：これから社会に育っていく学生に、今までの経験、ノウハウを提供し少しでもその中から学び取っていただければと思っております。

学歴：1981年 熊本大学工学部環境建設工学科卒業
1983年 九州大学大学院工学研究科熱エネルギーシステム工学専攻博士前期課程修了
1996年 東北大学大学院工学研究科化学工学専攻博士後期課程修了(社会人学生として)



建築・設備工学科
池 鯉 悟

学歴：1981年 熊本大学工学部環境建設工学科卒業
1983年 九州大学大学院工学研究科熱エネルギーシステム工学専攻博士前期課程修了

コメント：空調設備会社の高砂熱学工業株式会社で、クリーンルームについての研究開発や設備設計、設備機器製造販売業務などの実務に25年間携わってきました。建築設備では、やはり実験を通してその面白さを体感してもらえないかと思っております。「おもしろいこと(技術)をやろう!」をモットーに、会社での研究開発と実務の経験を生かして、教育・研究に尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

研究報告

デジタル食育やさいかるたの開発

情報ネットワーク工学科
河野央・牧之内顕文

我々は、久留米信愛女学院短期大学健康栄養学科山下浩子准教授が開発した「食育やさいかるた」のデジタル版コンテンツとして、Web開発を共同で推進しています。

食育やさいかるたは、子どもたちが「食材名を覚えること」によって、食べ物に関心を持つようになること」を目標としています。デジタル化により、「いつでも誰でも」この食育コンテンツを利用できます。コンピュータグラフィックスによる3次元野菜の表示や、ゲームコンテンツとして楽しく野菜について学ぶことができる等、情報をより分かりやすく、豊かに、楽しく伝えることのできる提示手法を開発しています。

コンピュータグラフィックスを利用した聴覚障害児用見真似発音練習システムの開発情報

ネットワーク工学科 小田まり子

平成20年度より科学研究費基盤研究(C)研究課題「コンピュータグラフィックスを利用した聴覚障害児用見真似発音練習システムの開発」に取り組んでいます。

音声聴こえにくい子供たちが、カメラから取り組んだ自分自身の口唇動作とCGで作成した理想的な口唇動作を、画面上で比較しながら発音練習できるようにします。現在、情報ネットワーク工学科の河野央先生にご協力頂き、モデルとなる口唇動作CGアニメーションを開発しています。

学生ニュース

◆就職状況

昨年平成19年度就職率は企業の積極的な求人活動を反映し99.6%と好調でした。この数値は私学全国理系平均98.5%を上回るものでした。

本年度は企業の求人活動早期化が話題に上りましたが、すでに70%以上の学生諸君が何らかのかたちで活動に入っています。また、オムロン株式会社から内定を得るなど好調な動きをしています。

◆『就職活動の報告』

就職先…オムロン株式会社

私は就職活動を通じ、明確の目標を持つ、自己分析の大切さ、自分らし



機械システム工学科4年
谷川 慎
(高千穂高等学校)

くいる、この3点が重要だったと学びました。私は、今年の年明けから本格的に就職活動を始めました。筆記や面接試験を通し、しっかりやりたいことを伝えたり、熱意を分かってもらうには自分らしくいることが大事だと思いました。人は、先に進むとき、必ず何かしらの指針を持ち、それに向けていくと思います。私は、せっかく選んでもらったものとして、今の気持ちをずっと忘れずにいたいと思います。最後に、面接の指導や、数々の支援をしてくださった先生方、夜中遅くまで面接の練習に付き合ってく

れた友人たちに感謝します。
ありがとうございました。

◆『インターンシップ報告』

ダイハツ自動車九州株式会社
生産技術部プレスボディ正技室

インターン

に参加する以前の私にとつて生産技術という



交通機械工学科3年
坂井 達郎
(伝習館高等学校)

業務は、安全を最優先し、時間効率のよいラインを流すことだと思っていました。しかし、5日間の研修を通じて、私のこの考えは全体の業務のほんの一部であることに気がつきました。生産技術とはものつくるために「最適の方法を選ぶ技術」であり、技術と同様に「多くの経験」も必要であることが理解できました。この研修で特に印象に残ったことは、ロボットの動きや配置、部品の保管場所、製造に係わる人員の安全や職場の環境作りなどが緻密に計算されていたことです。今回の研修で生産技術のおもしろさや厳しさが理解できました。この経験を今後の就職活動や人生に役立たいと思います。

◆産学連携

久留米工業大学は、ダイハツ九州株式会社と産学連携協定を結んでいます。ダイハツ九州株式会社には、交通機械工学科以外の学科からもインターンシップに参加しています。

◆学生生活活動

◆『中学教育のTA体験を終えて』

私は、T

A(ティーチング・アシスタント)として地元の



機械システム工学科4年
西 享佑
(八女工業高等学校)

中学校や公民館に出向き先生方の模擬授業の補佐という役割をしました。

内容としては、工作実験を通してその原理を工学的に説明することで科学に興味を持つってもらうというものでした。この経験は、教職課程を履修している私にとつて、貴重な体験になり就職活動においても大変役に立つものとなりました。私にとつても、子供達にとつても教科書では味わうことのできない科学の面白さを知るとても良い機会になりました。

◆留学生の声

◆『夢に向かって!』



交通機械工学科4年
韓国出身
曹 智雲

私は韓国の自動車の専門学校で自動車学を専攻した後、二年間自動車会社で働きました。その時、先進国である日本の優れた自動車技術に憧れ、どうやったら世界一になれるのか、その精神と理念、そして最先

端の自動車技術を学ぶためにこの大学に留学することを決めました。この大学で一生懸命自動車技術を学び、その知識を活かし多くの人々が幸せになれるように頑張りたいです。

◆『決意』



電子情報システム工学専攻1年
中国出身
安 楠

私は中国の留学生の安楠と申します。二〇〇五年に夢を抱いて日本に来ました。最初久留米大学で日本語を学び、その後2年間研究生として勉強した後、この久留米工業大学をインターネットで探しました。この大学はきれいな自然環境、良好な学習雰囲気、優秀な教授陣また就職先の充実などたくさんの特徴を持っているからこの大学の大学院に進学することを決めました。これからは、皆と一緒にこの大学で青春を燃やしたいと思っています。

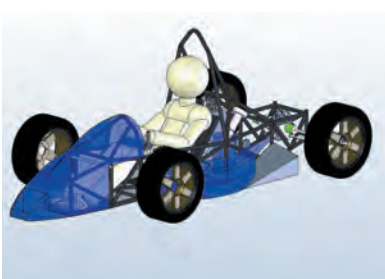
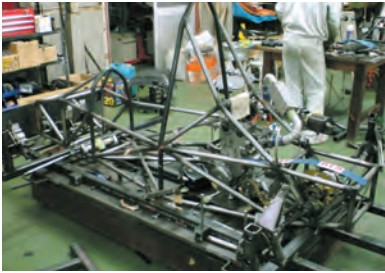


第6回全日本学生フォーミュラ大会に向けて

久留米工業大学フォーミュラプロジェクト

代表 西嶋 拓也(出身校 下関中央工業高等学校)

私たち久留米工業大学フォーミュラプロジェクトは、2005年11月にチームを結成し、今年で3年目を迎えます。昨年の9月に静岡で開催された第5回全日本学生フォーミュラ大会に大会初参加をしました。学生フォーミュラ大会とは、学生主体のチームがフォーミュラマシンを設計、製作し、1年に1度開催される大会で競技を行います。ただマシンの速さを競うだけでなく、マシンの設計において工夫したポイント、製作コストをどれだけ抑えているかといった審査もあり、ものづくりの総合力を競う大会です。現在の私達の活動状況は、今年の9月に行われる第6回全日本学生フォーミュラ大会に向けてマシンの製作に励んでいます。昨年



度の大会では思うような成績が出せなかったため、今年度は上位を狙えるマシンを製作しようとメンバー一丸となって活動しています。今年度のマシンは、軽量化と出力増加を意識した設計をしています。マシンの骨組みであるフレームを2月に完成させ、現在はエンジンのセッティングに力を注いでいます。4月に新一年生のメンバーも加わり、少しずつ作業に慣れてきた様子で今後が楽しみです。第6回全日本学生フォーミュラ大会において上位を狙うことが、現在の私たちの目標ですが、この活動が久留米工業大学の実践的なエンジニア育成の場として伝統の活動になることを目指して活動しています。

『久留米学生まちづくり集団』を告知ですか？

建築・設備工学科4年 林 崇裕(祐誠高等学校)

久留米には自然の豊かさ・充実した医療機関・多くの学校(学生)など大きな魅力があります。そこで、その魅力のひとつである学生達が『久留米市のまちづくり』に若者のアイデアを発していこうというスローガンのもと本学の先輩が中心となり結成した集団が『くるめ学生まちづくり集団』です。

私達は月に1〜2回行われる会議の中で、学生の視点から見た自由な発想で久留米のよさを引き出してという話し合いを重ね、学生が参加したまちづくりを目指して活動をしています。そして、昨年の12月22日には『くるめのまちをローソクの光で照らそう!』との発想から学生の若い力と『ほとめき隊』の方々の力が集結し『ほとめきクリスマスキャンドルライト2007』を開催することができました。今後も私達学生の若いエネルギーで学生が参加したまちづくりを目指し、ひとつひとつ実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

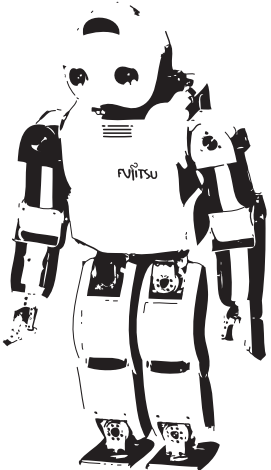


ロボコン大会への参加計画

代表 機械システム工学科1年

大本 佳佑(三原東高等学校)

ロボットコンテストは最近種類も増え、大変注目を集めています。本学機械システム工学科にはロボティクスコースがあり、ロボットを製作するための設備や工作機械は十分整っています。また、ロボティクスコースで学んだことを活かす場としてもロボットコンテストは絶好の場所だと思っています。私たちは以前からロボットに対し興味があり、機械システム工学科に入学してきました。入学したばかりで何もわかりませんが、大学4年間を使ってロボットコンテスト出場、あわよくば入賞...と考えています。現在の目標はNHK大学ロボコン及びABUアジア・太平洋洋ロボコンに出場することです。9月に競技内容発表表があり、12月の第一次選考会(書類審査)への応募を考えています。また、夏休みに九州大学や福岡工業大学などと交流を行い、ロボコン経験者のアドバイスやノウハウなどの技術的な話を聞き、経験を積んで行きたいと思っています。



久留米工業大学の
アドミSSIONポリシー

久留米工業大学は「人間味豊かな産業人の育成」を建学の精神とし、これに基づいて「知・情・意の調和のとれた実践的教育を行う」ことを教育理念としています。すなわち、知識、技術や教養を身につけ、人間愛、人としての優しさを有し、強靱な意志、逞しい精神力を備えた産業人を育成することを目指しています。本学はものづくりに興味を持つ人、忍耐強くものごとを最後まで諦めずやり遂げる人、また学業・技術・文化・芸術・スポーツ等の分野で実績のある人またはこれらの分野で長い間頑張ってきた人であることを期待します。さらに本学での学業を通し、将来社会で役立つ実力及び技術を身につけ、社会において活躍したいという強い意志を持った人を求めています。

求める学生像と受け入れの基本方針

- 1 工学の分野に興味を持ち、将来工学の分野で社会に貢献しようとする人
- 2 技術を身につけ社会に貢献しようとする人
- 3 ものづくりに興味を持ち、新しいものをつくらうとする意欲のある人
- 4 工学や理学の知識を身に付け、将来教育界で活躍しようとする人

工学部

平成21年度久留米工業大学入試日程

区 分	エントリー申込期間	合格発表日	試験会場
AO入試	9月1日(月)～ 3月25日(水)まで随時	エントリー受付後、相談により 出願日程・面接日を決定	後日通知 本 学

区 分	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	試験会場
前期推薦入試 (指定校推薦入試含)	10月29日(水)～ 11月12日(水)	11月15日(土)	11月20日(木)	本学および地方試験会場
中期推薦入試	12月1日(月)～ 12月17日(水)	12月20日(土)	12月25日(木)	本 学
後期推薦入試	1月5日(月)～ 1月19日(月)	1月21日(水)	1月24日(土)	本 学
前期一般入試	1月5日(月)～ 1月28日(水)	2月2日(月):学外試験場 3日(火):本学のみ	2月7日(土)	本学および地方試験会場
中期一般入試	2月16日(月)～ 3月10日(火)	3月12日(木)	3月14日(土)	本 学
後期一般入試	3月16日(月)～ 3月23日(月)	3月25日(水)	3月26日(木)	本 学
センター利用 前期入試	1月5日(月)～ 2月6日(金)		2月14日(土)	本学独自の試験は実施しません
センター利用 後期入試	2月16日(月)～ 3月9日(月)		3月14日(土)	本学独自の試験は実施しません

公開講座

講座名	講座内容	講座日時	講座名	講座内容	講座日時
パソコン入門講座 〈夏季〉※1	パソコン入門 ワープロ使ってみる インターネットにアクセスする	5月30日(金) 18:30～20:30	こども科学教室 ビオトープで 生きるものを観察しよう!	ビオトープに生息する生物、植物、昆虫及び小生物を顕微鏡などで観察。	8月9日(土) 一部9:30～2部10:45～ 各1時間程度
インターネット入門講座 〈夏季〉※1	インターネットとwww webブラウザの操作 電子メール	6月6日(金) 18:30～20:30	こども科学教室 ソーラーミニ四駆2008	速度の速いソーラーカーを 親子で作製して走らせる!	8月8日(土) 13:30～16:00
表計算入門講座 〈夏季〉※1	excel基本操作 表計算 グラフの作成	6月13日(金) 18:30～20:30	パソコン入門講座 〈秋季〉※1	パソコン入門 ワープロ使ってみる インターネットにアクセスする	10月25日(土) 13:30～16:00
こども科学教室 水辺の生き物を 調べてみよう	広川の上、下流域の水生生物調査を 通して、水中の生き物の生活の 様子を実感する。	7月26日(土) 9:30～12:00	インターネット入門講座 〈秋季〉※1	インターネットとwww webブラウザの操作 電子メール	11月1日(土) 13:30～16:00
こども科学教室 ロボットと遊ぼう(1)	虫型ロボットを作って迷路を 脱出させよう!	7月26日(土) 13:30～16:00	表計算入門講座 〈秋季〉※1	excel基本操作 表計算 グラフの作成	11月8日(土) 13:30～16:00



図書館の地域への開放

近年 IT 情報社会化に伴い、利用者のニーズに応えるため本学と久留米市立図書館が相互協力を締結し、久留米市はもとより広川町・八女市近隣の幅広い地域の方が利用できるように図書館の解放をいたしております。利用者は図書館にて新聞・雑誌の購読及び図書の貸出ができ、自宅のパソコンから本学のシステムの OPAC (利用者用検索オンライン目録) を検索することが可能です。